

FULL HEIGHT DOOR[®]

INSET MODE インセット枠

フルハイトドア

施工手順書

片引き戸 【床付タイプ】

片引き戸
床付タイプ



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けした場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□片引き戸(床付レール)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同梱品	鎌錠		
部材	数量	備考		※鎌錠付の場合のみ1セット 建具金物箱に同梱		
引き戸	1枚	引手取付済み 戸車取付済み 鎌錠の場合はカセットのみ取付済み	同梱品			
ガイドピース 取付定規A	1本	木口面に同梱				

インセット枠			同梱品	床付レール(面付)	床付レール(埋込V)	ガイドピース	MSビス						
部材	数量	備考		1本(付属ビス含む)	1本	1ヶ	1セット						
縦枠	1本	錠付の場合のみ鎌錠受取付済み	同梱品										
				ビスキャップ			<table border="1"> <tr><td>H21</td><td>5本</td></tr> <tr><td>H24</td><td>5本</td></tr> <tr><td>H26</td><td>6本</td></tr> </table>	H21	5本	H24	5本	H26	6本
H21	5本												
H24	5本												
H26	6本												
			<table border="1"> <tr><td>H21</td><td>5ヶ</td></tr> <tr><td>H24</td><td>5ヶ</td></tr> <tr><td>H26</td><td>6ヶ</td></tr> </table>			H21	5ヶ	H24	5ヶ	H26	6ヶ		
H21	5ヶ												
H24	5ヶ												
H26	6ヶ												

下地枠			同梱品	施工手順書		
部材	数量	備考				
縦枠下地	1本		同梱品			
中方立下地	1本					
片方立下地	1本					
開口定規	1本	下地枠外寸法用				
見切縁	1本	ラフカット				

□片引き戸(床付レール)

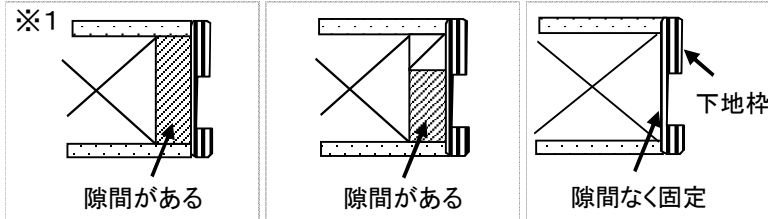
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

1-1 施工前の確認事項

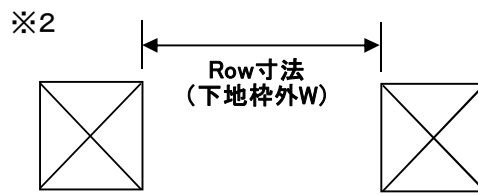
- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。（縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）



×

×

○



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

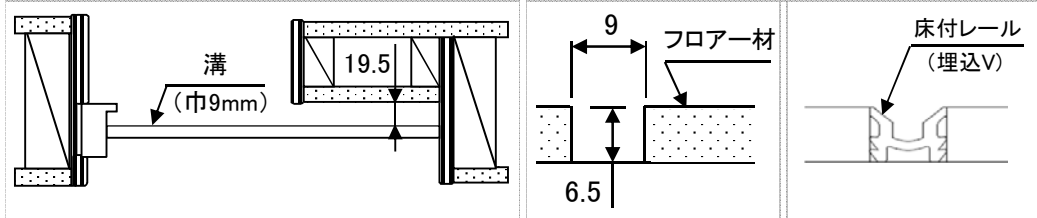


注意

- ※1：下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2：施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
 ※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

1-2 施工前の確認事項（床付レール（埋込V）取付の場合）

- ① 床付レール（埋込V）を床に取り付ける場合、小壁から19.5mm離れた位置に、床付レール（埋込V）を埋め込む溝を確保してください。
 縦枠面から片方立下地まで、巾9mm深さ6.5mmの溝を確保してください。



床付レール（埋込V）の取り付け溝位置

床付レール（埋込V）の取り付け溝断面

床付レール（埋込V）納まり図

注意

- ※面付レール（埋込V）がきつ不入なったり、緩くて外れてしまわないように、床付レール（埋込V）を埋め込む溝の巾は指定の寸法9mmを守ってください。また、段差が出来ないように、溝の深さも指定の寸法6.5mmにしてください。
 ※床付レール（埋込V）を埋め込む溝は、縦枠面から片方立下地の巾木面までとなります。

□片引き戸(床付レール)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

- ① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス
(現場手配品)併用にて躯体に固定します。レーザー等で立ちを見ながら下地の固定を行ってください。(下地断面の狭い方が戸袋側で、壁厚の真ん中に取り付けてください)



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

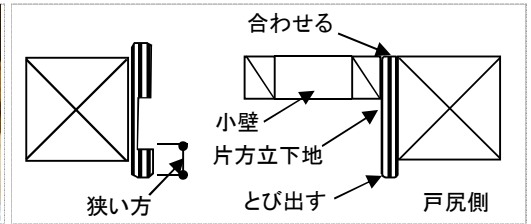
ビス固定の方法

×

ビス固定の方法

O

- ② 片方立下地を接着剤・取り付けビス
(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(小壁側の壁面と下地材を合せます)



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

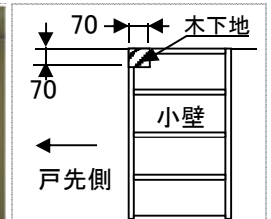
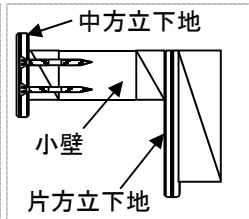
片方立下地の取り付け位置

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

3 中方立下地の取り付け方

- ① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は床仕上げ面から天井までの長さです)その際に金物を固定するため、小壁面から70mm、天井面から70mmの範囲に必ず木下地を入れてください。

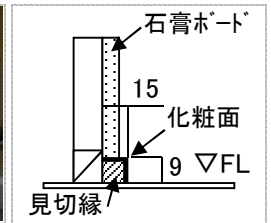
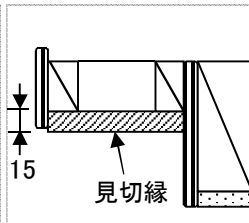


下地裏面に接着剤全面塗布

小壁を立てて
中方立下地の取り付け

70mmの範囲で木下地を入れる

- ② 戸袋側の小壁に沿わせて、見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取り付けます。見切縁の15mmの面に石膏ボードを載せてください。(石膏ボードは12.5mmの設定なので、2.5mmのチリが出ます)



見切縁の取り付け

見切縁の位置

注意

- ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
- ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
- ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

□片引き戸(床付レール)

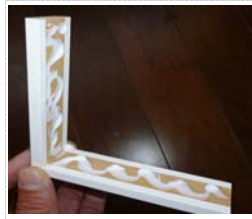
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

4 巾木・クロス施工

① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



巾木の取り付け方



巾木の取り付け方
×



巾木の取り付け方
○

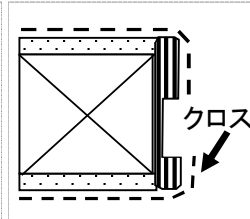
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします)
その際に、下地のシャクリ部分までクロス巻き込んでください。



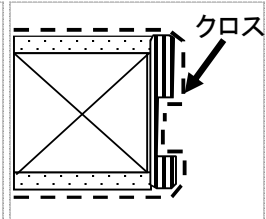
メッシュテープ貼り



パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

5 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。



インセット枠固定
(MSビス)



手動ドライバーで完全に固定

注意

※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

□片引き戸(床付レール)

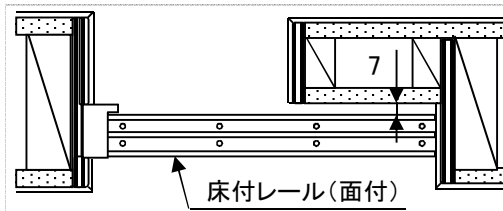
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

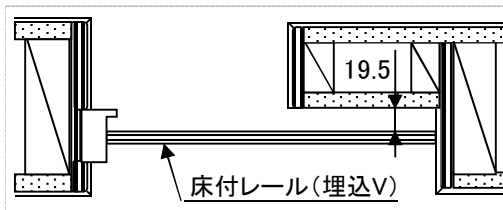
6 床付レールの取り付け

- ① 床付レール(面付)の場合
床付レール(面付)を床に取り付けます。小壁から7mm離れた所に、付属のビスにて取り付けてください。
ビスの取付順は、中央から始め両端側に止めて行ってください。



床付レール(面付)の取り付け位置

- ② 床付レール(埋込V)の場合
床付レール(埋込V)に当て木をして、溝に埋め込んでください。



床付レール(埋込V)の取り付け位置

注意

- ※床付レール(面付)の取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーにて行ってください。
- ※床付レール(面付)の場合、床材の伸縮によりレールが浮いた時は、一度取外して再取付してください。その際、必要に応じレール裏面に両面テープを付けてください。
- ※床付レール(埋込V)の溝が広くなってしまう、レールが外れてしまう場合には、両面テープ(現場手配品)をレールの底面に貼り付けて対応してください。

7 ガイドピースの取り付け

- ① 扉に同梱されているガイドピース取付定規Aにてガイドピースを小壁に取り付けます。まず定規を床仕上面に当て、かつ小壁の端に合わせます。次に欠込み側を小壁の方に向けてL字型に墨をつけガイドピースを当ててビス固定を行います。
金物は別途金物箱にあります。



定規を床仕上面にあてる
小壁の端に合わせる

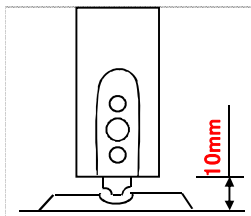


L字に墨をつける

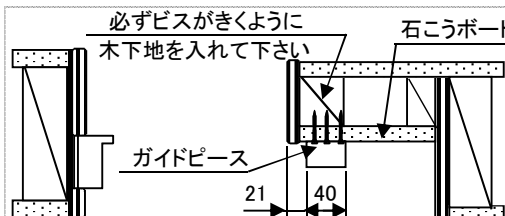


墨にガイドピースを
当ててビス固定

- ② 戸車の初期設定は扉を吊り込み易くする為、車輪が奥に引っ込んでいます。扉吊り込み後に床と扉のクリアランスが10mmになるように調整してください。

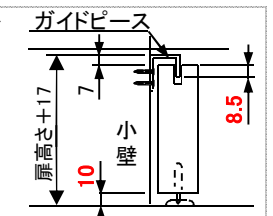


床と扉のクリアランスを
10mmにする



ガイドピースの取り付け

ガイドピースと扉が確実に掛かっている事を確認してください



注意

- ※ガイドピースを取り付ける際、墨がかくれるように取り付けてください。
- ※ガイドピースの締め付けは最後に手動ドライバーにて完全固定してください。
- ※戸車調整を行わないと、ガイドピースのかかりが浅くなり(設定は8.5mmかぶる)、扉が転倒する恐れがありますので注意してください。
- ※石膏ボードは12.5mmの想定なので、それ以上の仕様の場合は、現場にて長ビスを用意して取り付けてください。

□片引き戸(床付レール)

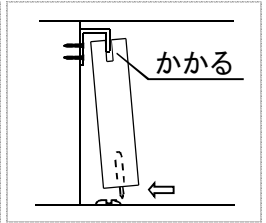
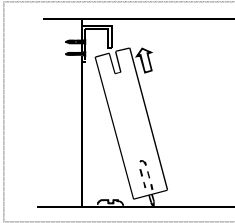
forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

8 建具の吊り込み

- ① 上部より吊り込みを行い、ガイドピースに建具上部木口のガイド溝から建具を差し込みます。建具を持ち上げながら垂直にしていき、建具下部の戸車を床付レールの溝に乗せます。その際、上部のガイドピースがガイド溝に完全にかかっていることを確認してください。



ガイドピースに建具上部木口のガイド溝から建具を差し込む

建具下部の戸車を床付レールの溝に乗せる。ガイド溝に完全にかかる。

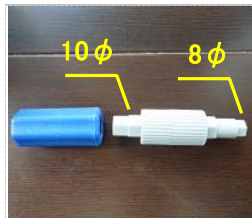


注意

- ※ソフトクローズ機能はついていません。
- ※ガイドピースにガイド溝から建具を差し込む際には、できるだけ建具中央部分から差し込んでください。
- ※戸車は床付レールの溝にしっかりと乗せてください。
- ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

9 MS金物の調整

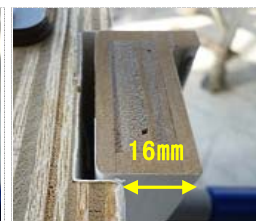
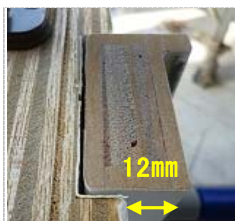
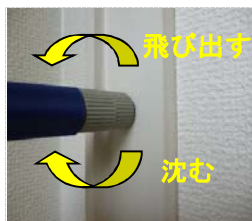
- ① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。



六角レンチ

ロック解除 (8φ)

- ② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14mmの設定ですので、12~16mmの範囲で調整してください。(16mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックをしてください。



左右の調整 (10φ) (±2mm)

引っ込めた状態 (見付12mm)

飛び出した状態 (見付16mm)

ロック (8φ)

注意

- ※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)

□片引き戸(床付レール)

forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

10 戸車・鎌錠受けでの調整

- ① 吊り込み後に戸車にて調整をする際は、上下調整は真ん中のネジ、左右調整は下側のネジにて手動ドライバーで行ってください。



【調整範囲】

上下方向+6mm、-0mm

左右方向±2mm

戸車の調整

- ② 鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は上下の固定ビスを緩め、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。



上下の調整

前後の調整

ビスキャップの取り付け



注意

※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。

※戸先側と戸尻側木口で調整操作が反転しますので、ご注意ください。

※戸車の初期設定は扉を吊り込み易くする為、車輪が奥に引っ込んでいます。扉吊り込み後に床と扉のクリアランスが10mmになるように調整してください。

□ アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 for インセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同	鎌錠		
部材	数量	備考		※鎌錠付の場合のみ1セット 建具金物箱に同梱		
引き戸	1枚	引手取付済み 戸車取付済み 鎌錠の場合はカセットのみ取付済み	同 梱 品			
ガイドピース 取付定規B	1本	木口面に同梱				

インセット枠			同	床付レール(面付)	床付レール(埋込V)	ガイドピース	戸当り	
部材	数量	備考		1本(付属ビス含む)	1本	1ヶ	1ヶ	
縦枠	1本	錠付の場合のみ鎌錠受取付済み	同 梱 品					
				MSビス		ビスキャップ		
				1セット H21 5本 H24 5本 H26 6本		1セット H21 5ヶ H24 5ヶ H26 6ヶ		

下地枠			同	施工手順書		
部材	数量	備考				
縦枠下地	1本		同			
中方立下地	1本					
開口定規	1本	下地枠外寸法用				

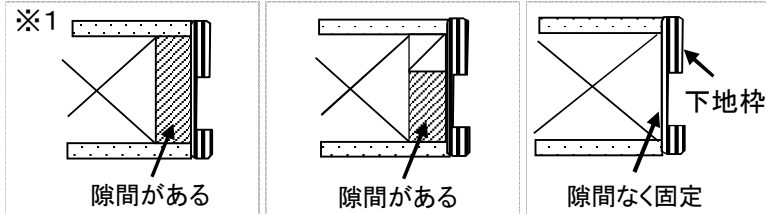
□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

1-1 施工前の確認事項

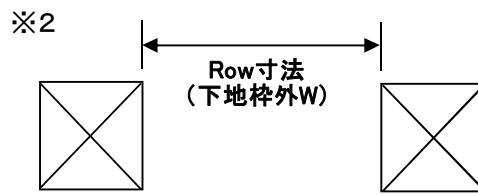
- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾(図面: ROW寸法)と、高さ(図面: 床仕上~開口高さ)の確認をしてください。(縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください)



X

X

O



下地枠外Wの開口枠定規にて開口の確認

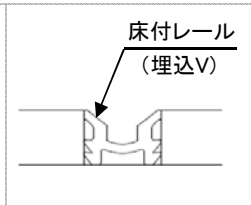
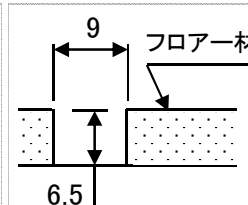
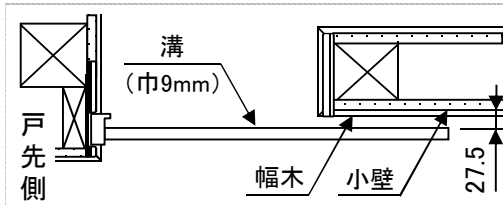


注意

- ※1: 下地枠は躯体(構造材)と面接する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2: 施工前のW寸法確認には、同梱の下地枠外W寸法確認用の開口定規を使用してください。
 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

1-2 施工前の確認事項 (床付レール (埋込V) 取付の場合)

- ① 床付レール(埋込V)を床に取り付ける場合、小壁から27.5mm離れた位置に、床付レール(埋込V)を埋め込む溝を確保してください。縦枠面から縦枠面まで、巾9mm深さ6.5mmの溝を確保してください。



床付レール(埋込V)の取り付け溝位置

床付レール(埋込V)の取り付け溝断面

床付レール(埋込V)の納まり図

注意

- ※面付レール(埋込V)がきつ不入なかつたり、緩くて外れてしまわないように、床付レール(埋込V)を埋め込む溝の巾は指定の寸法9mmを守ってください。また、段差が出来ないように、溝の深さも指定の寸法6.5mmにしてください。
 ※床付レール(埋込V)を埋め込む溝は、小壁から27.5mm離し、戸先側の縦枠面から溝を確保してください。納まり図を参照し、床付レール(埋込V)を仮合せて確認してください。

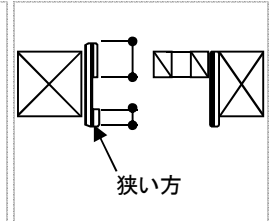
□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

2 縦枠下地の取り付け

- ① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス（現場手配品）併用にて躯体に固定します。レーザー等で立ちを見ながら下地を固定してください。（下地断面の狭い方が戸袋側で、壁仕上げ面と同じ位置）
また、壁厚に対して下地枠が足りない部分は石膏ボードを貼ってください。



下地裏面に接着剤全面塗布

下地表よりビス固定

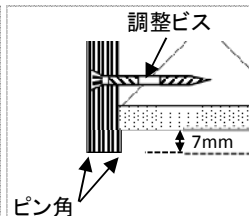
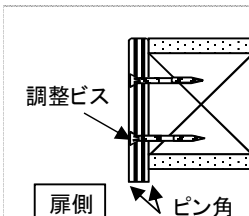
ビス固定の方法

断面の狭い方が戸袋側

- 注意**
 ※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

3 中方立下地の取り付け・中方立躯体下地入れ

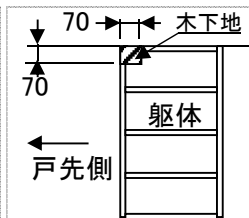
- ① 中方立下地を柱に固定します。（ピン角側が扉側）
枠の位置は壁に対して7mmのチリが出ますので、扉側に7mm出した所におき、レーザー等で立ちを見ながら同梱の調整ビスにて枠を固定してください。



調整ビスにより枠を固定

壁厚より7mmチリが出る

- ② 中方立部分の躯体(戸尻側の躯体)には、金物を固定するために必ず躯体面、及び天井面から70mmの範囲で木下地を入れてください。



70mmの範囲で木下地を入れる

- 注意**
 ※中方立下地材は扉側がピン角になるように取り付けを行ってください。

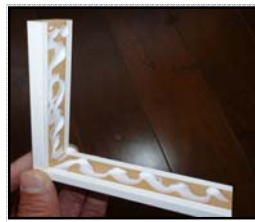
□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

4 巾木・クロス施工

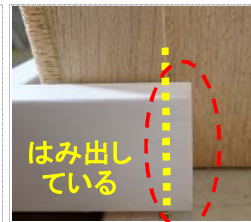
① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



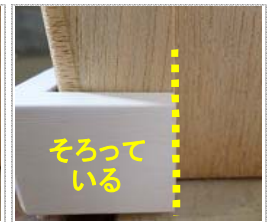
接着剤全面塗布



巾木の取り付け方



巾木の取り付け方
×



巾木の取り付け方
○

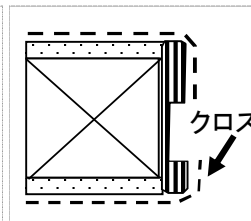
② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします)
その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。



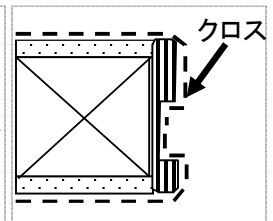
メッシュテープ貼り



パテ処理



クロスの貼り方
×



クロスの貼り方
○

注意

5 インセット枠の取り付け

① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。



インセット枠固定
(MSビス)



手動ドライバーで完全に固定



※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

注意

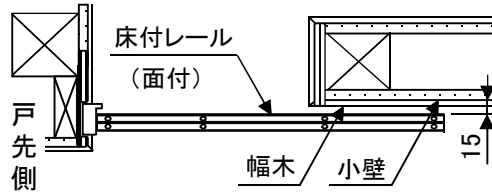
□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

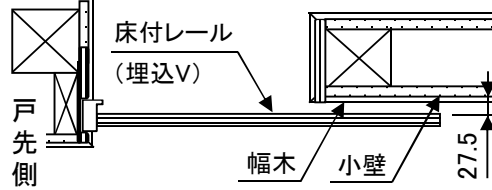
6 床付レールの取り付け

- ① 床付レール（面付）の場合
床付レール（面付）を床に取り付けます。小壁から15mm離れた所に、付属のビスにて取り付けてください。
ビスの取付順は、中央から始め両端側に止めて行ってください。



床付レール（面付）の取り付け位置

- ② 床付レール（埋込V）の場合
床付レール（埋込V）に当て木をして、溝に埋め込んでください。



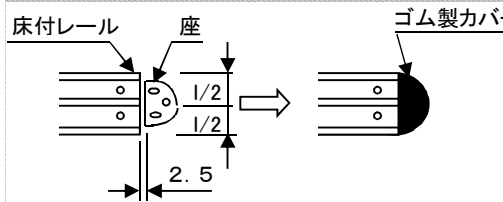
床付レール（埋込V）の取り付け位置

注意

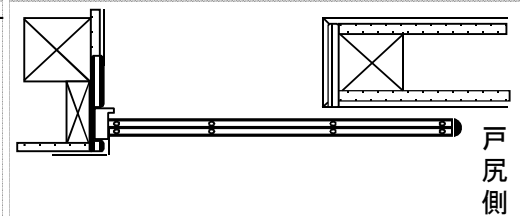
- ※床付レール（面付）の取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーにて行ってください。
- ※床付レール（面付）の場合、床材の伸縮によりレールが浮いた時は、一度取外して再取付してください。その際、必要に応じレール裏面に両面テープを付けてください。
- ※床付レール（埋込V）の溝巾が広がってしまい、レールが外れてしまう場合には、両面テープ（現場手配品）をレールの底面に貼り付けて対応してください。

7 戸当りゴムの取り付け

- ① 戸当りの座を床に取り付けます。（床付レールの端部から2.5mm離し、見込み方向の真ん中に取り付けてください。その後、座にゴムカバーを取り付けてください）



戸当りの取り付け



ゴムカバーの取り付け

注意

- ※床付レール（面付）及び床付レール（埋込V）とも、戸当りの取付位置は同じ様に2.5mm離して取り付けてください。

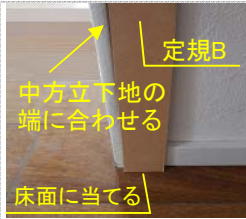
□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

8 ガイドピースの取り付け

① 扉に同梱されているガイドピース取付定規Bにてガイドピースを小壁に取り付けます。まず定規を床仕上面に当て、かつ小壁の端に合わせます。次に欠込み側を小壁の方に向けてL字型に墨をつけガイドピースを当ててビス固定を行います。
金物は別途金物箱にあります。



定規を床仕上面にあてる
中方立下地の端に合わせる

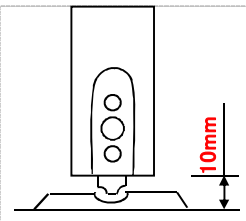


L字に墨をつける

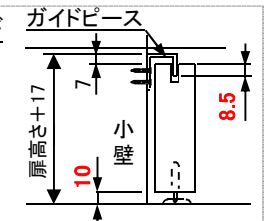
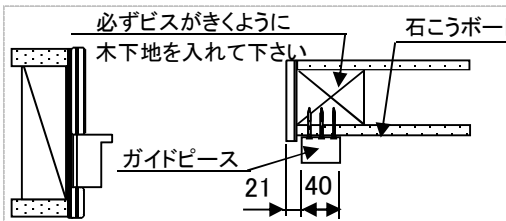


墨にガイドピースを
当ててビス固定

② 戸車の初期設定は扉を吊り込み易くする為、車輪が奥に引っ込んでいます。扉吊り込み後に床と扉のクリアランスが10mmになるように調整してください。



床と扉のクリアランスを
10mmにする



ガイドピースの取り付け
ガイドピースと扉が確実に掛かっている事を確認してください

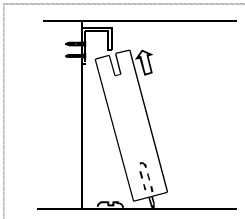
注意
 ※ガイドピースを取り付ける際、墨がかかれるように取り付けてください。
 ※ガイドピースの締め付けは最後に手動ドライバーにて完全固定してください。
 ※戸車調整を行わないと、ガイドピースのかがりが浅くなり（設定は8.5mmかぶる）、扉が転倒する恐れがありますので注意してください。
 ※石膏ボードは12.5mmの想定なので、それ以上の仕様の場合は、現場にて長ビスを用意して取り付けてください。

9 建具の吊り込み

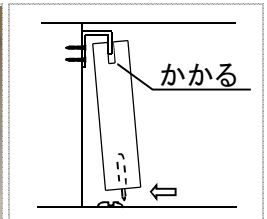
① 上部より吊り込みを行い、ガイドピースに建具上部木口のガイド溝から建具を差し込みます。建具を持ち上げながら垂直にしていき、建具下部の戸車を床付レールの溝に乗せます。その際、上部のガイドピースがガイド溝に完全にかかっていることを確認してください。



ガイドピースに建具上部木口のガイド溝から
建具を差し込む



建具下部の戸車を床付レールの溝に乗せる。
ガイド溝に完全にかかる。



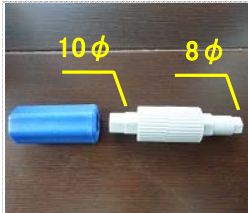



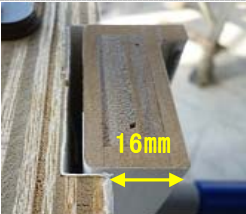

注意
 ※ソフトクローズ機能はありません。
 ※ガイドピースにガイド溝から建具を差し込む際には、できるだけ建具中央部分から差し込んでください。
 ※戸車は床付レールの溝にしっかりと乗せてください。
 ※建具の開閉は勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性がありますので注意してください。

□アウトセット片引き戸(床付レール)【エンド枠付タイプ】 forインセット枠

施工手順書2013/6更新

改訂2017/6

10 MS金物の調整

<p>① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。</p>				
<p>② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14mmの設定ですので、12~16mmの範囲で調整してください。(16mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックをしてください。</p>				
<p>注意</p> <p>※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)</p>	<p>六角レンチ</p>	<p>ロック解除 (8φ)</p>	<p>左右の調整 (10φ) (±2mm)</p>	<p>引っ込めた状態 (見付12mm)</p> <p>飛び出した状態 (見付16mm)</p> <p>ロック (8φ)</p>

11 戸車・鎌錠受けでの調整

<p>① 吊り込み後に戸車にて調整をする際は、上下調整は真ん中のネジ、左右調整は下側のネジにて手動ドライバーで行ってください。</p>			<p>【調整範囲】 上下方向+6mm、-0mm 左右方向±2mm</p>	
<p>② 鎌錠受けにて調整する場合、上下調整は上下の固定ビスを緩め、鎌錠受けを手で上下に動かしてください。前後の調整は、内側にあるビスをまわして調整を行ってください。最後に、同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。</p>				
<p>注意</p> <p>※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。 ※戸先側と戸尻側木口で調整操作が反転しますので、ご注意ください。 ※戸車の初期設定は扉を吊り込み易くする為、車輪が奥に引っ込んでいます。扉吊り込み後に床と扉のクリアランスが10mmになるように調整してください。</p>	<p>戸車の調整</p>	<p>上下の調整</p>	<p>前後の調整</p>	<p>ビスキャップの取り付け</p>